

NFD 西臼杵消防だより

//////////////////////////////// 2023年度 全国統一防火標語 //////////////////////////////////

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

第15号



令和6年1月

NFD 西臼杵消防だより

■発行 西臼杵広域行政事務組合消防本部 〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井1346番地1
■編集 総務課総務係 ■電話 0982(82)2900 ■E-mail soumu@nshiusuki.jp

We save lives

消防長査閲訓練

令和5年度消防長査閲訓練を10月20日に実施しました。

この訓練は、隊員の日々の訓練の成果を個々の動き、隊の連携などを通して消防長が確認するもので、厳正な規律のもと隊列で動く通常点検のほか、消防署の3つの係(隊)ごとに火災防ぎよ訓練を展示しました。

火災防ぎよ訓練では、同じ想定のもとと各隊が消火活動、逃げ遅れた要救助者の救出をいかに迅速、安全に行うかを工夫を凝らして実施し、日頃の訓練の成果を発揮していました。



令和5年度

防火ポスターコンクール



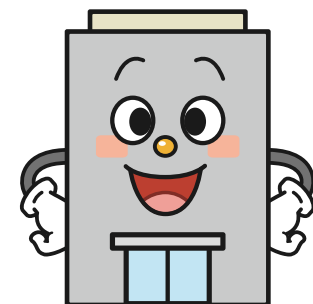
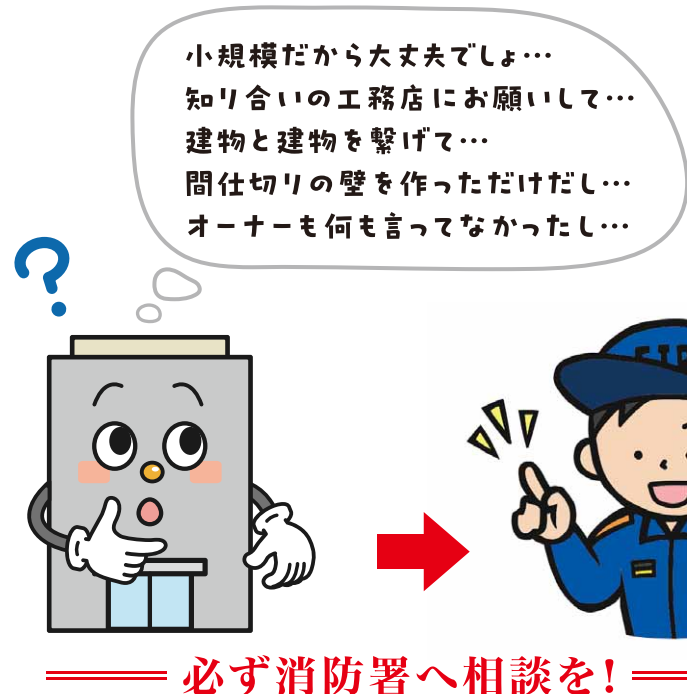
西臼杵広域消防本部では、2020年度より火災予防啓発と防火教育の一環として、管内3町の小学生を対象に防火ポスターコンクールを開催しています。本年度は最優秀賞に高千穂小学校5年の原田龍和(はらだりゅうと)さんの作品が選ばれました。作品はポスターにして、郡内の公共施設や店舗等に掲示していただいています。

例年、夏休みに合わせて作品を募集しています。来年度も開催を予定していますので、ぜひご応募ください。

その建物は

大丈夫?

店舗や飲食店、事務所などの建物は、面積・構造・階数・収容人員などにより、消防用設備等の設置が義務付けられています。増改築や用途変更、テナントの入替えなどを行った場合に、知らない間に消防法違反となってしまう、消防の立入検査時に指摘されるケースがあります。これらの変更をお考えの方は、消防署にどんな小さなことでも事前に相談をお願いします。



令和5年度

多数伤病者対応合同訓練

令和5年10月21日に西臼杵郡内を中心とする複数の機関と合同で多数傷病者対応合同訓練を実施しました。参加機関は高千穂警察署、宮崎県立延岡病院ドクターカー、宮崎県防災救急航空隊、西臼杵郡内の各町国民健康保険病院、役場、消防団と多岐にわたり総勢約160人が訓練に参加しました。

観光バスが多く行き交う西臼杵地域において、いつ起こるかも知れないバス同士の衝突という事故想定で、関係機関が初動体制の確認、現場対応能力の向上、他機関との情報共有や連絡調整の円滑化を目的とし、実際に高千穂町国民健康保険病院下の町道三田井・岩戸線に観光バスとスクールバスに見たてたマイク口バスを配置、町職員や女性消防団員がケ

ガ人に扮し、リアリティーのある現場を再現した訓練が実施されました。

①【初動】

通報を受けて出動した救急隊と救助隊は、現場確認後直ちに傷病者（ケガ人）の数や状態の把握に努めます。同じく連絡を受けた警察官は交通規制の実施や、事故原因の聴取にあたります。

指令室員は出動指令を出すと同時に、郡内の病院に連絡をし、受入れ態勢を整えてもらいます。また、通報内容から傷病者が多数いると考えられるため、郡内の医療機関のみでは対応が困難である

と判断し、延岡市や宮崎市、熊本市などの医療機関への搬送を考慮しドクターヘリ宮崎、宮崎県防災救急ヘリコプターの要請も行います。更に、臨時ヘリポートへの散水を実施してもらうために、役場を通じて消防団の出動を要請します。

②【現場確認・状況把握】

現場に到着した救急隊、救助隊は事故車両の状況、二次災害の危険性、車内に取り残された傷病者の人数や容体を確認します。同じく現場に到着した警察官は交通整理を実施すると同時に、関係者から事故の状況や原因について聞き取りを行います。

バス同士の衝突事故を想定



①【初動】



②【現場確認・状況把握】



③【二次トリアージ・搬出】

傷病者の人数がある程度把握できたら、各車両に隊員を割り振り緊急度の判定をし、緊急度の高い傷病者から搬出を開始します。

④【二次トリアージ・搬送順位の決定】

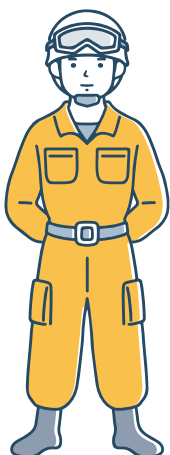
車外に救出した傷病者を緊急度別に4箇所を集め、再度詳細に容体を観察し医療機関への搬送順位搬送先医療機関を決定します。

今回の訓練では県立延岡病院ドクターカーの医師が現場に到着したため、医師の指示で搬送順位を決定しました。

5 【搬送】

台数の限られた救急車でいかに効率よく傷病者を搬送するか、また防災救急ヘリコプターやドクターヘリ、ドクターカーをどう活用するかを考え、順次医療機関への搬送を行います。

傷病者受入れの中心となる高千穂町国民健康保険病院は、通常業務を中断し多数傷病者の受入れのための特別体制へと移行します。



『トリアージ』とは

トリアージとはフランス語の「triage」に由来しており、「選別」と言う意味を持っています。

災害時や大規模な事故現場などで複数の傷病者（負傷者）が発生した現場では、先着順で処置や搬送を実施するのではなく、限られた医療スタッフや資器材で、一人でも多くの傷病者に対して最善の治療を行うために、緊急性や症状の重症度から優先順位を決定して医療機関への搬送などを行うことをトリアージといいます。

優先順位を決定するためには、特定の基準を用います。そして傷病者一人一人に振り分けられた結果が現場で活動する各機関の人たちが一目でわかるように「トリアージタッグ」という、色で識別できる標識を付けるようになっていきます。色は、赤色（生命が危機的になっていますが治療が必要）、黄色（重篤だが直ちに生命に危険があるわけではない）、緑色（生命の危険がなく外来で十分）、黒色（すでに心肺停止状態、あるいは救命の見込みがない）の4色です。

